

シアターX カイ 新春 舞踊鍋 なべ

— 2019年、折田克子さんに捧ぐ —



1月 4金 5土 6日

劇場 東京 両国 シアターX カイ

そもそも「演劇創造の現場」をめざして1992年に出発したシアターXが創立2年目にして「国際ダンス・フェスティバル」02年より「シアターX国際舞台芸術祭」に拡大を、開催するところとなったのも創造と批評の精神を舞踊家が身ひとつできびしく織りなし形象化する「舞踊詩」に触発されたゆえのこと。

真新しい、新年早々を、自由に、闊達に躍動出発しましょう！ 俳優も作家もダンサーも演出家も音楽家も歌手もプロデューサーもアーティストスタッフも……是非ともご参加ください！

初回の「舞踊鍋なべ」は今年10月5日に逝去されました。日本を代表する現代舞踊家 折田克子さんへの追善の宴でもあります。

4(金)
18時～

- * 映像 折田克子作品『憶の市』 (1978年)
- * トーク 『憶の市』について 長谷川六 (舞踊評論家)
- * 映像 折田克子作品『憶の市』 (2012年)
- * 舞踊鍋 なべ (即興・当日参加自由…) リーダー 仲野恵子 松永茂子 高橋誠子

5(土)
14時～

- * 映像 “踊る妖精” 折田克子作品
『かぐや姫 と アインシュタイン』 (2018年)
『かもめ』 (2010年)
『山姥』 (2006年)
- * 舞踊鍋 なべ
 - ・ ヨネヤマ ママコ
 - ・ 倉知外子
 - ・ 花柳面 & 塩高和之 (琵琶)
 - ・ ケイタケイ & ラズ・ブレザー & 岩崎倫夫

6(日)
14時～

- * トーク 「折田克子を語る」 緑川潤 (日本東欧芸術家協会会長) × 吉田悠樹彦 (舞踊批評家・芸術評論)
- * 歌 ♪ ひばりの佐渡情話 ♪ “美空ひばりの代理” 生方和代 (女優)
- * 応募者による舞踊鍋 なべ 三浦一壮 / 藍木二郎 / 紙田 昇 / 宇佐美雅司
- * 映像 折田克子作品『パラダイス・ロスト』 (1989年)
- * みんなで献舞 —— “克子さんと共に”
進行 ケイタケイ 声明 大内義雄 鼓 望月太左衛

参加費：1000円(3日間有効)

墨田区両国 2-10-14 tel 03-5624-1181 <http://www.theaterx.jp> info@theaterx.jp



I.O Dance Flame Aプロ

折田克子の世界

2012年 9月28日(金)19時開演・29日(土)13時開演
(開場30分前)

「憶の市」(1978年)初演 批評家協会賞受賞

1967年アフガニスタンの首都カブールにて建国50周年記念事業に参加
帰国と同時に文化庁在外研修員としてアメリカ、ヨーロッパへ一年滞在
アメリカでは自然へ回帰しようとするヒッピーが群れを成していた
それらの国に比べ、当時の日本は平和そのもの
物が溢れ、若者たちは流行を追う事のみを眼かせていた
人間の居場所による人の在りよる落差は良し悪しではなく、人間派の私の心に拍車をかけた
その視点から記憶の市場が生まれ、この度、34年振りの再演となる

「山姥」(2006年)初演

第7回シアターX国際舞台芸術祭 IDTF 実行委員会制作「踊る妖精 黒塚伝説の姥たち」より

出演：小堀 秀子 松永 茂子 渡辺 麻子 藤田 恭子 東泉 雪絵 阿部 友紀子
堀米 優子 土屋 麻美 沼田 万里子 有山 美由紀
木許 恵介 白野 利和 能見 広伸 山本 裕 堀之内 真平
折田 克子

ダンスミストレス：手柴 孝子



第1回「黒塚伝説の姥たち…山姥」

シアターX 国際舞台芸術祭
踊る妖精シリーズ とは…?日本の“創作舞踊の畑で永年座り込んでいるダンサー”たちに
共通のテーマでソロ作品を創作、踊っていただくという企画。

- 第1回(2006)『黒塚伝説の姥たち』
- 第2回(2008)『阿国のメタモルフォーゼ』
- 第3回(2010)『(チェーホフの)かめめ』
- 第4回(2018)『かぐや姫とアインシュタイン』

『黒塚伝説の姥たち』の
イメージクリプト

『踊る妖精』これまでの出演者

折田克子 アキコカンダ ケイタケイ 石黒節子 竹屋啓子 美加理
ヨネヤママコ 倉外子 花柳面 市川紅美 上杉満代

美しき姥たちが人の肉を食らっていたという昔ばなしの
醜聞を直ぐさま、心理的なメタファーだとするツルツと
小利巧な、だから怠慢な解釈がだんだんと私たちの芸術
をつまらなくしているんです。
厳しく現実の地を踏みしめつつも ついには裏っ返しの
現実に行きつき、裏っ返しの月をみたり 裏っ返しの山脈
をのぼり 裏っ返しの風にふかれて、姥の鬼となった…こ
れは彼女たちの真実譚 そのものなのです。(イメージクリプト：)
上田美佐子

折田克子プロフィール

おりた・かつこ(1937-2018)
舞踊家 石井みどりと作曲家でバイオリニストの折田
泉の娘として生まれる。
11歳で初リサイタルを日比谷公会堂にて開催。戦前
より石井みどり氏と共に公演活動。音楽、演劇界との
交流も活発で、欧米、アジア、中近東、東欧など、世
界各地で公演。主な作品に『梟の唄』(新国立劇場オー
プニング公演)。石井みどり/折田克子舞踊研究所主宰。

シアターX国際舞台芸術祭には第3回(98)『考
える人と踊る人』にアメリカのダニエル・ネーグ
リンと共同創作した『誰か』で参加。第7回(06)『幽
色霊気』から始まった『踊る妖精』シリーズには
すべて参加し、その度に新作を発表。シアターX国
際舞台芸術祭実行委員として企画や公募審査に携
わる。18年6月23日の『踊る妖精』が遺作となった。
『かぐや姫とアインシュタイン』が遺作となった。